



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成25年1月30日

上場会社名 かどや製油株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2612 URL http://www.kadoya.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小澤 二郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部長 (氏名) 戸倉 章博 TEL 03-3492-5545
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の業績（平成24年4月1日～平成24年12月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	16,592	0.4	2,046	△7.0	2,102	△4.6	1,349	9.9
24年3月期第3四半期	16,510	△2.7	2,201	△9.1	2,205	△7.5	1,228	△8.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	143.62	—
24年3月期第3四半期	130.66	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	23,496	19,024	81.0	2,023.87
24年3月期	23,201	18,194	78.4	1,935.63

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 19,024百万円 24年3月期 18,194百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	65.00	65.00
25年3月期	—	0.00	—		
25年3月期（予想）				65.00	65.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,000	3.0	2,600	△0.3	2,600	△0.4	1,500	4.2	159.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

「四半期財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第5条の4に該当するものであります。詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期3Q	9,400,000株	24年3月期	9,400,000株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	149株	24年3月期	124株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期3Q	9,399,857株	24年3月期3Q	9,399,876株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きを実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

尚、上記予想に関する事項は添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

第3四半期累計期間におけるわが国経済は、昨年の政権交代を契機に新しい政策に対する期待感が日本株を上昇させ、株価の上昇や円安基調に繋がっていますが、引き続き欧州債務問題、新興国における景気減速、米国の財務規律強化による世界経済の減速懸念等により厳しい状況が続く見通しであります。

食品業界におきましては、食中毒事件や放射能等をめぐる不安感から食の安全・安心について取り組みが進む中、米国の天候不順による穀物価格の上昇が予想される等、引き続き厳しい状況が予想されます。

このような状況下、当社はテレビコマーシャルや抽選による現金プレゼントキャンペーンを実施する等需要の掘り起こしを図ったこと、また北米を中心に輸出が堅調であったこと等により、食中毒事件による焼肉業界の冷え込みから売上が低迷していた前年同期を上回り、売上高は前年同期比0.4%増となりました。

一方、販売費及び一般管理費は、販売数量を確保するため拡販を積極的に展開したこと等により、販売経費が前年同期比4.5%増したため、全体では前年同期比3.9%増となりました。

この結果、売上高は16,592百万円(前年同期比82百万円増)、経常利益は2,102百万円(前年同期比102百万円減)、四半期純利益は1,349百万円(前年同期比121百万円増)となりました。

①ごま油事業

ごま油事業におきましては、家庭用では長引くデフレ下において進む内食への回帰が、自宅での調理から惣菜品の購入に変化しつつあるものの、一昨年から続く焼肉業界の冷え込みによる業務用の状況は以前の水準に至っていないながら、近年力を入れてきた輸出やセサミンが成果を出しつつあり、前年を上回る状況となりました。

また、原料購入価格が前期を下回っており、為替が円高に推移していたことと合わせ単位当たりの原価は前期を下回る状況であります。

こうした環境下において、積極的な販売促進活動を行う等、販売数量を確保するための対策を実施しております。

以上の結果、売上高は13,663百万円(前年同期比154百万円増)、セグメント利益は1,648百万円(前年同期比96百万円減)となりました。

②食品ごま事業

食品ごま事業におきましては、依然、景気デフレ下、消費者の節約志向、買い控え等の動きが続き、需要の顕著な回復は見られず前年を下回る状況となりました。

また原料購入価格は原料高騰の影響もありドルベースでは前期を上回るものの、為替が円高に推移していたことから円ベースでは前期を下回る状況であります。

こうした環境下において、当社は新製品の開発を進める等、先を見据えた対策を実施しております。

以上の結果、売上高は2,926百万円(前年同期比72百万円減)、セグメント利益は397百万円(前年同期比58百万円減)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の資産につきましては、前期末に比べ295百万円増加しました。これは棚卸資産が692百万円、繰延税金資産が87百万円、固定資産が償却等で80百万円減少するなどの減少要因があったものの、現金及び預金が377百万円、売掛金が735百万円増加したこと等によるものであります。

負債につきましては、前期末に比べ533百万円減少しました。これは買掛金が110百万円、未払金が57百万円、未払法人税等が267百万円、賞与引当金が89百万円減少したこと等によるものであります。

純資産につきましては、前期末に比べ829百万円増加しました。これは四半期純利益1,349百万円計上、配当金の支払い610百万円により利益剰余金が738百万円、繰延ヘッジ損益が57百万円、その他有価証券評価差額金が32百万円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成24年5月14日に公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ8百万円増加しております。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,068	7,446
受取手形及び売掛金	4,538	5,273
商品及び製品	891	756
仕掛品	551	571
原材料及び貯蔵品	3,033	2,455
その他	456	412
流動資産合計	16,540	16,916
固定資産		
有形固定資産	5,132	5,002
無形固定資産	16	25
投資その他の資産	1,512	1,551
固定資産合計	6,661	6,580
資産合計	23,201	23,496
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,045	1,934
未払法人税等	563	296
賞与引当金	179	90
役員賞与引当金	68	54
その他	1,336	1,268
流動負債合計	4,194	3,645
固定負債		
退職給付引当金	700	714
資産除去債務	70	71
長期未払金	41	41
固定負債合計	812	827
負債合計	5,006	4,472
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,160	2,160
資本剰余金	3,082	3,082
利益剰余金	12,911	13,650
自己株式	△0	△0
株主資本合計	18,153	18,892
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	21	54
繰延ヘッジ損益	19	77
評価・換算差額等合計	40	131
純資産合計	18,194	19,024
負債純資産合計	23,201	23,496

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	16,510	16,592
売上原価	9,173	9,208
売上総利益	7,337	7,384
販売費及び一般管理費	5,135	5,337
営業利益	2,201	2,046
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	18	17
為替差益	—	30
雑収入	13	10
営業外収益合計	34	61
営業外費用		
支払手数料	4	4
為替差損	22	—
雑損失	3	0
営業外費用合計	30	4
経常利益	2,205	2,102
特別利益		
固定資産売却益	0	7
補助金収入	—	0
特別利益合計	0	7
特別損失		
固定資産除売却損	15	8
固定資産圧縮損	—	0
投資有価証券売却損	0	—
会員権評価損	0	2
特別損失合計	15	11
税引前四半期純利益	2,189	2,099
法人税、住民税及び事業税	901	713
法人税等調整額	60	35
法人税等合計	961	749
四半期純利益	1,228	1,349

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	2,189	2,099
減価償却費	483	455
その他の償却額	3	2
賞与引当金の増減額(△は減少)	△89	△89
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△29	△13
退職給付引当金の増減額(△は減少)	47	14
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△0
受取利息及び受取配当金	△20	△20
支払手数料	4	4
為替差損益(△は益)	0	0
投資有価証券売却損益(△は益)	0	—
会員権評価損	0	2
有形固定資産除売却損益(△は益)	15	1
固定資産圧縮損	—	0
補助金収入	—	△0
売上債権の増減額(△は増加)	△518	△723
破産更生債権等の増減額(△は増加)	0	0
たな卸資産の増減額(△は増加)	△87	692
前払費用の増減額(△は増加)	△41	37
未収入金の増減額(△は増加)	△2	0
その他の資産の増減額(△は増加)	△27	△6
仕入債務の増減額(△は減少)	△203	△110
未払金の増減額(△は減少)	105	49
未払費用の増減額(△は減少)	△3	△16
未払消費税等の増減額(△は減少)	51	△32
その他の負債の増減額(△は減少)	11	14
小計	1,888	2,361
利息及び配当金の受取額	45	44
支払手数料の支払額	△5	△5
補助金の受取額	—	0
法人税等の支払額	△1,158	△973
営業活動によるキャッシュ・フロー	769	1,426
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△471	△416
無形固定資産の取得による支出	△3	△12
有形固定資産の売却による収入	0	9
有形固定資産の除却による支出	△2	△4
資産除去債務の履行による支出	—	△0
投資有価証券の取得による支出	△4	△4
投資有価証券の売却による収入	0	—
貸付金の回収による収入	3	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△478	△426

(単位:百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	—	△0
株式公開費用の支出	—	△12
配当金の支払額	△610	△609
財務活動によるキャッシュ・フロー	△610	△622
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△319	377
現金及び現金同等物の期首残高	6,459	7,053
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,140	7,431

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ごま油	食品ごま	計		
売上高					
外部顧客への売上高	13,508	2,999	16,508	2	16,510
計	13,508	2,999	16,508	2	16,510
セグメント利益	1,745	455	2,201	0	2,201

(注) 1. 「その他」の区分には、「仕入商品販売」を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,201
「その他」の区分の利益	0
四半期損益計算書の営業利益	2,201

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ごま油	食品ごま	計		
売上高					
外部顧客への売上高	13,663	2,926	16,590	2	16,592
計	13,663	2,926	16,590	2	16,592
セグメント利益	1,648	397	2,046	0	2,046

(注) 1. 「その他」の区分には、「仕入商品販売」を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,046
「その他」の区分の利益	0
四半期損益計算書の営業利益	2,046

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。